

予 算 科 目		10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	02社会教育委員設置事業
細 事 業 名		01 社会教育委員設置事業			決算書 P.142
総 合 計 画		計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
410千円		510千円	100千円	80.3 %	656千円
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。				
主要な事務・事業の概要	社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。 ＜社会教育委員会議の主な内容＞（3回開催） 平成29年度社会教育・社会体育事業の概要 平成30年度社会教育・社会体育事業計画・予算、協議課題、意見交換 研究課題「公民館体制のあり方について」 ＜社会教育委員研修事業＞ 京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月29日：大山崎町） 丹後地方社会教育委員連絡協議会総会（8月3日：本市） 近畿地区社会教育研究大会（和歌山大会）（9月7日：和歌山市） 丹後地方社会教育委員連絡協議会研修会（11月12日：宮津市） 丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会への参加（3回） ○社会教育委員報酬 272千円 ・委員：15人（報酬対象：12人） ○旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費） 43千円 ○需用費（研修事業資料代、燃料費） 7千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 23千円 ○負担金、補助及び交付金 65千円 ・京都府及び丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金				
主な財源					
成果・課題	○社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。 ○公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、引き続き重点的に審議を行う必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予 算 科 目		10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	03社会教育指導員設置事業
細 事 業 名		01 社会教育指導員設置事業			決算書 P.142
総 合 計 画		計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
21,319千円		21,370千円	51千円	99.7 %	21,370千円
目的	生涯学習課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。				
主要な事務・事業の概要	社会教育事業の計画・立案及び運営や、社会教育関係団体等への指導・助言などを行った。 ○社会教育指導員の配置 全9人 ・生涯学習課 1人 ・峰山地域公民館 2人 ・大宮地域公民館 1人 ・網野地域公民館 2人 ・丹後地域公民館 1人 ・弥栄地域公民館 1人 ・久美浜地域公民館 1人 ○社会教育指導員報酬 17,982千円 ・月額報酬額166,500円×12か月×9人 ○共済費 2,960千円 ・社会保険料 2,801千円 ・労災保険料 53千円 ・雇用保険料 106千円 ○旅費（費用弁償） 377千円				
主な財源					
成果・課題	○社会教育指導員の設置により、各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、住民のニーズに応えた社会教育活動を推進することができた。 ○今後も、住民ニーズの的確な把握に努め、社会教育活動を支援していく必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	04成人式開催事業	
細 事 業 名	01 成人式開催事業				決算書 P.142
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,179千円	1,229千円	50千円	95.9 %	1,229千円	
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする青年（新成人）を祝い激励する。				
主要な事務・事業の概要	<開催概要> ・日 時 平成31年3月17日（日） ・会 場 京都府丹後文化会館 ・対 象 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生659人（男355人、女304人） ・出席者 539人（出席率：81.7%） ・内 容 アトラクション：丹後吹奏楽団、京丹後市少年少女合唱団協議会 式 典：二十歳の主張、新成人に贈るメッセージ等 記念品：記念写真、慶弔用ふくさ ○報償費 925千円 ・アトラクション出演謝金 50千円 ・司会謝金 35千円 ・報償物品（記念写真、慶弔用ふくさ） 840千円 ○需用費（消耗品費、燃料費） 29千円 ○役務費（通信運搬費等） 63千円 ○使用料及び賃借料（会場借上料等） 162千円				
主な財源					
成果・課題	○新成人とその親が「二十歳の主張」「新成人に贈るメッセージ」を発表する中で、改めてお互いに感謝し、自覚、激励する機会となり、新成人にとって有意義な式典となった。 ○昨年度同様80%を超える出席率を維持することができた。引き続きより多くの新成人に参加してもらえるよう内容や周知方法を検討する必要がある。				
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	05青少年教育事業	
細 事 業 名	01 青少年教育事業				決算書 P.142
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,900千円	1,900千円	0千円	100.0 %	1,900千円	
目的	将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進することによって、心豊かな人間の基礎づくりを推進する。				
主要な事務・事業の概要	○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 青少年が健やかに育つことを推進し、関係団体・機関が連携を強化し、地域社会をあげて育成活動を進めることを目的に、青少年の体験活動やあいさつ運動、夏祭りパトロールなどの取組を実施する組織に対し補助金を交付。 ○少年少女児童合唱団補助金（4団体×150千円） 600千円 音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心を育む活動を支援する。 ○地域子ども教室補助金（6団体×150千円） 900千円 心豊かでたくましい子どもを育むことを目的に、子ども達の居場所を確保し、様々な体験活動、住民との交流活動等の事業を行う教室に対し補助金を交付。				
主な財源					
成果・課題	○青少年の健やかな成長を支援する体験活動を実施また支援することができた。 ○市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を行う必要がある。				
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業			
細 事 業 名	01 高齢者教育事業				決算書 P.142		
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
2,489千円		2,742千円		253千円	90.7 %	3,000千円	
目的	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。						
主要な事務・事業の概要	○高齢者大学						
	・受講者数 824人（平成31年3月31日現在）						
	・実施地域 各町（各地域公民館主管）						
	学園	活 動 内 容					
		一般講座		趣 味 講 座			
		回数	延べ参加者	延べ回数	延べ参加者	講座数	講座内容
	峰山	8回	525人	125回	1,635人	10	ちぎり絵、コーラス、民謡、歌謡等
	大宮	7回	259人	28回	274人	7	庭木剪定、スマホ・タブレット等
	網野	10回	1,074人	203回	3,331人	12	陶芸、水彩画、習字、料理等
	丹後	7回	328人	54回	640人	9	生け花、詩吟、書道、俳句等
	弥栄	8回	256人	55回	650人	8	絵手紙、エコクラフト、料理等
	久美浜	7回	382人	53回	583人	8	健康、古典文学、スケッチ絵画等
	合計	47回	2824人	518回	7,113人	54	
	○賃金（受講生送迎業務臨時職員） 176千円						
	○報償費（一般講座、趣味講座講師謝金） 1,625千円						
○旅費 13千円							
○需用費（消耗品費、燃料費） 251千円							
○委託料（バス運転委託料） 233千円							
○使用料及び賃借料（会場借上料等） 191千円							
主な財源	諸収入	社会教育事業等参加費				824千円	
成果・課題	○高齢者大学各種講座の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と、学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。						
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業	
細 事 業 名	01 家庭教育事業				決算書 P.142
総 合 計 画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,841千円	1,844千円	3千円	99.8 %	2,081千円	
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。				
主要な事務・事業の概要	乳幼児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。				
	○子育て講座（講師謝金等）				220千円
	事 業		回数	延べ参加者数	
	乳幼児期子育て講座		6回	155人	
	就学前、思春期子育て講座		5回	337人	
	合 計		11回	492人	
	○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金）				721千円
	子育て経験者や専門的な知識や経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、子育てに悩みや不安を抱えている親に対して、地域課題に即した子育て支援活動を行った。				
	※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計48人				
	事 業		回数	延べ参加者数	
	子育て交流会		29回	560人	
	「手紙で結ぶ家族の絆」事業		21回	244人	
	子育て広場		10回	284人	
	高校生と赤ちゃんのふれあい交流		17回	263人	
	合 計		77回	1,351人	
	※広報誌発行（全チーム）				発行回数：各1回
	○京丹後市PTA協議会補助金				900千円
府研究大会の開催、市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成					
主な財源	府補	家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）			622千円
成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めることができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を図る必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業	
細事業名	01 芸術文化事業				決算書 P.144
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
32,590千円	32,590千円	0千円	100.0 %	32,590千円	
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう芸術・文化を育て、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。				
主要な事務・事業の概要	芸術・文化活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実に努めた。 ○京都：Re-Search実行委員会負担金 500千円 アーティスト5人が本市に滞在して地域を調査し、アート作品の構想を立てた。 ○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円 映画上映やコンサート、公演など多くの事業を実施し、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及に努めた。 ○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 ・加盟団体 157団体、2,062人 ※平成31年3月末現在 総合文化祭として、「舞台芸能祭」や「総合作品展」を実施したほか、支部事業等を多数実施し、市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動の場を提供した。 ○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門（7事業）、展示部門（2事業）、セミナー（2事業）を実施した。 ○小町ろまん短歌大会開催補助金 125千円 ・開催日、会場 平成30年12月2日（日）、アグリセンター大宮 ・短歌投稿 一般の部688首、高校生の部877首、中学生の部1,905首 小学生の部549首 （合計）4,019首 ・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・講評 ・参加人数 110人 ○京丹後郷土芸能祭事業補助金 165千円 ・開催日、会場 平成30年10月21日（日）、京都府丹後文化会館 ・内 容 「丹後の祭り」5団体の発表、入場者250人				
主な財源					
成果・課題	○子どもから大人まで、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。 ○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立した運営に向けて指導していく必要がある。 ○京丹後市文化芸術振興条例制定に伴い、文化芸術に関する施策の総合的、計画的な推進方策等を検討する必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	12人権教育事業	
細 事 業 名	01 人権教育事業				決算書 P.144
総合計画	計画項目	22 人権を尊重するまちづくり			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
211千円	244千円	33千円	86.4 %	244千円	
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権尊重の精神の涵養を図る。				
主要な事務・事業の概要	人権に関する多様な課題について、身近で気軽に参加できる学習機会を設けるとともに、障害者の社会参加、交流を促進する研修会を実施した。				
	○人権教育研究京丹後市大会 ・講演会 実施日 平成30年8月21日 会場：京都府丹後文化会館 演 題 「人権教育の裾野～その1～」 講 師 濱 喜代巳 氏（京都府人権教育研究協議会顧問） 参加者 315人 ○障害者交流研修会 ・視覚障害者交流研修会 実施日 平成30年6月22日 会場：峰山地域公民館 内 容 カローリング体験、ふろしき（リュックサック・帽子づくり）講座 参加者 31人 ・聴覚障害者交流研修会 実施日 平成30年11月9日 会場：峰山地域公民館 内 容 カローリング体験、踊り「東京五輪音頭-2020-」、ガラスアート講座 参加者 37人 ○その他事務費等 ・普通旅費、消耗品費等				163千円 <

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	18子ども放課後対策推進事業
細 事 業 名	01 子ども放課後対策推進事業			決算書 P.144
総 合 計 画	計 画 項 目	25 子育て支援の総合的な推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
891千円	908千円	17千円	98.1 %	908千円
目的	放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			
主要な事務・事業の概要	○委託料 891千円 放課後子ども教室運営委託料（2か所）			
	※事業の概要			
		網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室	
	実施場所	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内	
	委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会	
	参加児童数	延べ716人（1回平均18人）	延べ1,695人（1回平均42人）	
支援員の数	延べ287人（1回平均7人）	延べ381人（1回平均10人）		
実施日	平成30年4月～平成31年3月（授業のある水曜日の放課後）40回			
活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど			
主な財源	府補 京のまなび教室推進事業費補助金（2/3）			506千円
成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、子ども達は異年齢の方と交流し、地域住民の協力を得てさまざまな体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。			
所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	50社会教育総務一般経費	
細 事 業 名	01 社会教育総務一般経費				決算書 P.144
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
2,718千円	2,763千円	45千円	98.3 %	2,902千円	
目 的	社会教育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、女性教育活動団体に対し、その活動を支援するための補助金を交付し生涯学習の振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○普通旅費（研修会参加等）27千円 ○需用費（消耗品費、修繕費）163千円 ○委託料（事務補助業務人材派遣委託料）2,158千円 ・派遣人数：1人 ・派遣期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料）9千円 ○京丹後市連合婦人会活動補助金361千円 活動内容：避難所運営ゲーム指導、管外研修、講演会、各種ボランティア ほか				
主 な 財 源	諸収入 市有自動車損害共済金				61千円
成 果 ・ 課 題	○社会教育関係職員の資質向上を図るための研修機会を確保することができた。 ○事務補助業務人材派遣を受け入れることにより、社会教育関連の事務事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会においては、活動を通じて得た知識・経験等を活かし、さらに地域の活性化・まちづくりにつなげる必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01中央公民館管理運営事業	
細事業名	01 中央公民館管理運営事業				決算書 P.144
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
39,930千円	39,976千円	46千円	99.8 %	39,976千円	
目的	地域住民の学習及び交流活動の拠点として設置されている地区（自治）公民館活動を支援し、地区の活性化を推進する。				
主要な事務・事業の概要	研修会の実施、地区公民館活動交付金の交付などにより、地区公民館活動の支援を行った。				
	○公民館職員研修会講師謝金				16千円
	実施日	平成30年6月28日	平成30年11月22日		
	講演	「学校配置と公民館の役割」		「地域の活性化に向けて活動の場をどう提供するか」	
	講師	五箇地区公民館 尾崎 敏 氏		下宇川地区公民館 小林 文博 氏	
	参加者	97人		86人	
	○公民館総合（傷害）保険料（53地区館分）				2,061千円
	○地区公民館活動交付金				37,853千円
	内 訳		地区公民館数	交付金額	
	峰山町公民館連絡協議会		8館	8,231千円	
大宮町公民館連絡協議会		15館	6,525千円		
網野町公民館連絡協議会		12館	8,680千円		
丹後町公民館連絡協議会		5館	4,114千円		
弥栄町公民館連絡協議会		5館	3,481千円		
久美浜町公民館連絡協議会		8館	6,822千円		
合 計		53館	37,853千円		
※積算内訳		地区割	20,000円×225地区		
		世帯数割	1,400円×22,752世帯		
		町割（均等）	250,000円×6町		
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	10,000千円		
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	25,000千円		
成果・課題	○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など、地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○各町公民館連絡協議会の取組により、研修や地区公民館同士の情報交流が行われ、それぞれの事業の活性化を図ることができた。 ○公民館体制及び新たな地域コミュニティの在り方について、関係機関等との協議を進める必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業																																					
細事業名	01 峰山地域公民館管理運営事業				決算書 P.144																																				
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																																					
9,472千円	9,521千円	49千円	99.4 %	9,152千円																																					
目的	峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営、地域住民の身近な学習・交流機会の確保と充実を図る。																																								
主要な事務・事業の概要	○ 報償費、旅費		71千円	○ 役務費		420千円																																			
	○ 需用費		4,574千円	・ 通信運搬費		118千円																																			
	・ 消耗品費		292千円	・ 手数料、保険料		302千円																																			
	・ 光熱水費		3,686千円	○ 委託料		4,385千円																																			
	・ 修繕料		491千円	・ 宿日直業務委託料		2,604千円																																			
	・ その他		105千円	・ 施設清掃委託料		254千円																																			
	○ 使用料及び賃借料		22千円	・ ILバー保守点検委託料		531千円																																			
				・ その他		996千円																																			
	<社会教育事業>																																								
	<table><tr><th>事業種別</th><th>事業・講座名</th><th>実施回数</th><th>延べ参加者数</th><th>決算額</th></tr><tr><td rowspan="4">青少年教育</td><td>夏休み子ども体験事業</td><td>10回</td><td>386人</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="4">成人教育</td><td>ハーブガーデン講座</td><td>15回</td><td>193人</td><td>6千円</td></tr><tr><td>花とグリーン講座</td><td>1回</td><td>19人</td><td>6千円</td></tr><tr><td>エコクラフト講座</td><td>4回</td><td>58人</td><td>24千円</td></tr><tr><td>お菓子・パン講座</td><td>3回</td><td>23人</td><td>18千円</td></tr></table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	夏休み子ども体験事業	10回	386人	-	成人教育	ハーブガーデン講座	15回	193人	6千円	花とグリーン講座	1回	19人	6千円	エコクラフト講座	4回	58人	24千円	お菓子・パン講座	3回	23人	18千円								
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																																					
青少年教育	夏休み子ども体験事業	10回	386人	-																																					
	成人教育	ハーブガーデン講座	15回	193人	6千円																																				
		花とグリーン講座	1回	19人	6千円																																				
		エコクラフト講座	4回	58人	24千円																																				
お菓子・パン講座		3回	23人	18千円																																					
<公民館利用状況>																																									
<table><tr><td>大会議室</td><td>606回</td><td>17,413人</td><td>和室Ⅱ</td><td>423回</td><td>4,476人</td></tr><tr><td>第1会議室</td><td>351回</td><td>3,788人</td><td>料理実習室</td><td>101回</td><td>1,816人</td></tr><tr><td>練習室</td><td>390回</td><td>3,656人</td><td>第2会議室</td><td>469回</td><td>3,667人</td></tr><tr><td>講義室</td><td>357回</td><td>6,859人</td><td>視聴覚室</td><td>19回</td><td>180人</td></tr><tr><td>和室Ⅰ</td><td>426回</td><td>4,420人</td><td>展示室</td><td>51回</td><td>900人</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td></td><td>3,193回</td><td>47,175人</td></tr></table>						大会議室	606回	17,413人	和室Ⅱ	423回	4,476人	第1会議室	351回	3,788人	料理実習室	101回	1,816人	練習室	390回	3,656人	第2会議室	469回	3,667人	講義室	357回	6,859人	視聴覚室	19回	180人	和室Ⅰ	426回	4,420人	展示室	51回	900人	合 計				3,193回	47,175人
大会議室	606回	17,413人	和室Ⅱ	423回	4,476人																																				
第1会議室	351回	3,788人	料理実習室	101回	1,816人																																				
練習室	390回	3,656人	第2会議室	469回	3,667人																																				
講義室	357回	6,859人	視聴覚室	19回	180人																																				
和室Ⅰ	426回	4,420人	展示室	51回	900人																																				
合 計				3,193回	47,175人																																				
主な財源	使用料	峰山地域公民館使用料	944千円																																						
	諸収入	峰山地域公民館水道使用料負担金	237千円																																						
	諸収入	社会教育事業等参加料	48千円																																						
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。																																								
	○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。																																								
	○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。																																								
	○施設の老朽化が進行する中、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努める必要がある。																																								
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課																																							

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	
細事業名	02 大宮地域公民館管理運営事業				決算書 P.144
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
260千円		300千円	40千円	86.6 %	300千円
目的	大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。				
主要な事務・事業の概要	○報償費（講師謝金等）78千円				
	○需用費166千円				
	・消耗品費148千円				
	・修繕料（印刷機修繕料）18千円				
	○使用料及び賃借料（印刷機借上料）16千円				
	＜社会教育事業＞				
	事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額
	青少年教育	お菓子づくりとお作法教室	1回	34人	12千円
		ハッピーハロウィン	1回	17人	-
		おもしろ科学遊び	1回	19人	-
成人教育	歌ごえ講座	6回	100人	6千円	
	かな書道講座	5回	39人	18千円	
	リフレッシュ・ヨガ講座	10回	125人	18千円	
	ZUMBA講座	10回	219人	18千円	
	花とグリーン講座	3回	54人	6千円	
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料				46千円
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。				
所管課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業																										
細 事 業 名	03 網野地域公民館管理運営事業				決算書 P.144																									
総 合 計 画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																												
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																									
471千円		636千円	165千円	74.0 %	636千円																									
目的	網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。																													
主要な事務・事業の概要	○報償費（講師謝金）60千円																													
	○需用費194千円																													
	・消耗品費175千円																													
	・燃料費19千円																													
	○役務費（通信運搬費、ごみ持込手数料）31千円																													
	○委託料（バス運転委託料）99千円																													
	○使用料及び賃借料87千円																													
	・会場借上料73千円																													
	・テレビ受信料14千円																													
	＜社会教育事業＞																													
<table><tr><td>事業種別</td><td>事業・講座名</td><td>実施回数</td><td>延べ参加者数</td><td>決算額</td></tr><tr><td>女性教育</td><td>ビタミン・ハーブ講座</td><td>4回</td><td>62人</td><td>26千円</td></tr><tr><td>成人教育</td><td>京丹後市歴史探訪講座</td><td>4回</td><td>109人</td><td>49千円</td></tr><tr><td>芸術文化</td><td>網野町ふれあいコンサート</td><td>1回</td><td>460人</td><td>101千円</td></tr><tr><td>青少年教育</td><td>網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間</td><td>7回</td><td>213人</td><td>71千円</td></tr></table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	女性教育	ビタミン・ハーブ講座	4回	62人	26千円	成人教育	京丹後市歴史探訪講座	4回	109人	49千円	芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	460人	101千円	青少年教育	網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間	7回	213人	71千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																										
女性教育	ビタミン・ハーブ講座	4回	62人	26千円																										
成人教育	京丹後市歴史探訪講座	4回	109人	49千円																										
芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	460人	101千円																										
青少年教育	網野町ウィークエンド事業 ユタッコ仲間	7回	213人	71千円																										
主な財源	府補	土曜日の教育支援体制等構築事業補助金（2/3）			60千円																									
	諸収入	社会教育事業等参加料			10千円																									
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。																													
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課																												

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	
細事業名	04 丹後地域公民館管理運営事業			決算書 P.144	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
6,308千円	18,471千円	12,163千円	34.1 %	7,614千円	
目的	丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。				
主要な事務・事業の概要	○ 報償費、旅費 57千円 ○ 使用料及び賃借料 24千円				
	○ 需用費 3,737千円 ○ 委託料 2,258千円				
	・ 燃料費 128千円 ・ 電気設備保守管理委託料 216千円				
	・ 光熱水費 2,984千円 ・ 公民館受付等業務委託料 1,965千円				
	・ その他 625千円 ・ 消防設備保守点検委託料 16千円				
	○ 役務費 232千円 ・ バス運転業務委託料 61千円				
	・ 通信運搬費 101千円				
	・ 手数料、火災保険料 131千円				
	<社会教育事業>				
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	
青少年教育	たんごふるさと探検隊	3回	54人	12千円	
	少年少女意見発表大会	1回	240人	56千円	
成人教育	トレッキング	3回	46人	68千円	
<公民館利用状況>		※平成31年1月～臨時休館			
大ホール	172回	6,554人	会議室	31回	1,107人
第1研修室	208回	3,107人	和 室	114回	2,135人
第2研修室	67回	1,634人	茶 室	34回	333人
第3研修室	21回	394人	調理実習室	19回	417人
第4研修室	2回	23人	合 計	668回	15,704人
参考	繰越明許費を除いた最終予算額			6,471千円	
	実質的な予算執行率			97.4 %	
■令和元年度への繰越事業					
丹後地域公民館地盤等調査事業		令和元年5月完了	12,000千円		
主な財源	使用料	丹後地域公民館使用料	30千円		
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。 ○耐震等改修工事に着手し、地域住民の活動場所の早急な確保に努めるほか、休館中に学習活動が低下しないよう、工夫等に努める必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業																															
細 事 業 名	05 弥栄地域公民館管理運営事業			決算書 P.144																															
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																															
9,022千円	9,204千円	182千円	98.0 %	10,565千円																															
目 的	弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。																																		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ 報償費	42千円	○ 委託料	3,562千円																															
	○ 需用費	3,319千円	・ 宿日直業務委託料	2,604千円																															
	・ 燃料費	59千円	・ 施設清掃委託料	380千円																															
	・ 光熱水費	2,680千円	・ PCB収集運搬委託料	174千円																															
	・ 修繕料	356千円	・ その他	404千円																															
	・ その他	224千円	○ 使用料及び賃借料	293千円																															
	○ 役務費	564千円	・ 印刷機借上料	55千円																															
	・ 通信運搬費	72千円	・ 土地借上料他	238千円																															
	・ 手数料、保険料	492千円	○ 工事請負費	1,242千円																															
			・ 屋内消火栓設備設置工事																																
＜社会教育事業＞																																			
<table><tr><th>事業種別</th><th>事業・講座名</th><th>実施回数</th><th>延べ参加者数</th><th>決算額</th></tr><tr><td rowspan="2">青少年教育</td><td>親子パン教室</td><td>1回</td><td>18人</td><td>-</td></tr><tr><td>お菓子づくりとお作法教室</td><td>1回</td><td>6人</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="4">成人教育</td><td>剪定講座</td><td>4回</td><td>38人</td><td>24千円</td></tr><tr><td>第38回町民歩こう会</td><td>1回</td><td>22人</td><td>20千円</td></tr><tr><td>お菓子教室</td><td>2回</td><td>17人</td><td>12千円</td></tr><tr><td>花とグリーン講座</td><td>1回</td><td>13人</td><td>6千円</td></tr></table>					事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額	青少年教育	親子パン教室	1回	18人	-	お菓子づくりとお作法教室	1回	6人	-	成人教育	剪定講座	4回	38人	24千円	第38回町民歩こう会	1回	22人	20千円	お菓子教室	2回	17人	12千円	花とグリーン講座	1回	13人	6千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	延べ参加者数	決算額																															
青少年教育	親子パン教室	1回	18人	-																															
	お菓子づくりとお作法教室	1回	6人	-																															
成人教育	剪定講座	4回	38人	24千円																															
	第38回町民歩こう会	1回	22人	20千円																															
	お菓子教室	2回	17人	12千円																															
	花とグリーン講座	1回	13人	6千円																															
＜公民館利用状況＞																																			
<table><tr><td>和室（1階）</td><td>101回</td><td>2,591人</td><td>大会議室</td><td>256回</td><td>4,458人</td></tr><tr><td>和室（2階）</td><td>87回</td><td>3,157人</td><td>小会議室</td><td>287回</td><td>7,379人</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>273回</td><td>12,362人</td><td>調理実習室</td><td>83回</td><td>3,221人</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>1,087回</td><td>33,168人</td><td></td></tr></table>					和室（1階）	101回	2,591人	大会議室	256回	4,458人	和室（2階）	87回	3,157人	小会議室	287回	7,379人	大ホール	273回	12,362人	調理実習室	83回	3,221人	合 計			1,087回	33,168人								
和室（1階）	101回	2,591人	大会議室	256回	4,458人																														
和室（2階）	87回	3,157人	小会議室	287回	7,379人																														
大ホール	273回	12,362人	調理実習室	83回	3,221人																														
合 計			1,087回	33,168人																															
主 な 財 源	使用料	弥栄地域公民館使用料			84千円																														
	諸収入	社会教育事業等参加料			10千円																														
成 果 ・ 課 題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。 ○施設の老朽化が進行する中、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努める必要がある。																																		
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課																																	

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業																													
細事業名	06 久美浜地域公民館管理運営事業				決算書 P.144																												
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																															
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																												
1,336千円		1,524千円	188千円	87.6 %	1,524千円																												
目的	久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の充実を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○報償費 67千円																																
	○需用費 1,032千円																																
	・消耗品費 152千円																																
	・燃料費 141千円																																
	・光熱水費 699千円																																
	・修繕料 40千円																																
	○役務費 144千円																																
	・通信運搬費 128千円																																
	・手数料、保険料 16千円																																
	○委託料 68千円																																
・施設警備委託料 61千円																																	
・除草作業委託料 4千円																																	
・消防設備等保守点検 3千円																																	
○使用料及び賃借料 25千円																																	
・印刷機借上料 10千円																																	
・会場借上料 1千円																																	
・テレビ受信料 14千円																																	
＜社会教育事業＞																																	
<table><tr><th>事業種別</th><th>事業・講座名</th><th>実施回数</th><th>参加者数 (延べ)</th><th>決算額</th></tr><tr><td>青少年教育</td><td>夏休み子ども陶芸教室</td><td>1回</td><td>19人</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">成人教育</td><td>Twinぼーるエクササイズ教室</td><td>2回</td><td>28人</td><td>12千円</td></tr><tr><td>グラフィックデザイン講座</td><td>4回</td><td>66人</td><td>28千円</td></tr><tr><td rowspan="2">家庭教育</td><td>親と子のふるさと教室</td><td>3回</td><td>61人</td><td>21千円</td></tr><tr><td>産後ママの身体メンテナンス教室</td><td>1回</td><td>30人</td><td>6千円</td></tr></table>						事業種別	事業・講座名	実施回数	参加者数 (延べ)	決算額	青少年教育	夏休み子ども陶芸教室	1回	19人	-	成人教育	Twinぼーるエクササイズ教室	2回	28人	12千円	グラフィックデザイン講座	4回	66人	28千円	家庭教育	親と子のふるさと教室	3回	61人	21千円	産後ママの身体メンテナンス教室	1回	30人	6千円
事業種別	事業・講座名	実施回数	参加者数 (延べ)	決算額																													
青少年教育	夏休み子ども陶芸教室	1回	19人	-																													
成人教育	Twinぼーるエクササイズ教室	2回	28人	12千円																													
	グラフィックデザイン講座	4回	66人	28千円																													
家庭教育	親と子のふるさと教室	3回	61人	21千円																													
	産後ママの身体メンテナンス教室	1回	30人	6千円																													
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料				19千円																												
成果・課題	○地域住民に幅広い学習機会を提供し、社会教育活動を推進することができた。 ○引き続き地域住民のニーズ把握に努めるとともに、時代や地域課題に即した事業展開を図る必要がある。 ○広報の工夫、充実に努め、参加者の増加を図る必要がある。																																
所管課		教育委員会事務局／生涯学習課																															

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	03地区公民館管理運営事業	
細事業名	01 地区公民館管理運営事業			決算書	P.144
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
4,414千円		4,762千円	348千円	92.6 %	4,981千円
目的	地域住民への学習及びコミュニティ活動の拠点として地区公民館施設を設置し、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を支援する。				
主要な事務・事業の概要	網野地域の地区公民館の施設管理費、経常経費補助金など、維持管理にかかる経費を支出した。				
	○地区公民館施設管理費				
	・地区公民館施設管理委託料（1館分）				480千円
	・地区公民館火災保険料等補助金（7館分）				1,909千円
	・その他地区公民館管理経費（10館分）				2,025千円
	報償費（地区公民館管理謝金）				936千円
	需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）				1,032千円
	役務費（通信運搬費、手数料、保険料）				48千円
	委託料（消防設備等保守点検）				9千円
	○利用状況				
・網野地区公民館					
区 分		利用回数	利用者数		
大広間		135回	5,287人		
大会議室		118回	3,210人		
小会議室		143回	3,168人		
公民館会議室		24回	460人		
和 室		159回	1,208人		
調理室		6回	69人		
合 計		585回	13,402人		
主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金				285千円
成果・課題	○利用者の利便を確保するため、適正に維持管理を行うことにより、施設の機能を維持確保することができた。 ○網野地域には、地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、市負担の軽減・廃止に向けて調整を図る必要がある。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	50公民館一般経費		
細事業名	01 公民館一般経費				決算書	P.144
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
15,341千円		15,399千円		58千円	99.6 %	15,304千円
目的	地域公民館長の配置に係る経費や公民館職員の研修に係る経費及び公用車の維持管理経費、また、公民館行事に関する保険料などの一般経費					
主要な事務・事業の概要	地域公民館長の配置、公民館関係の研修並びに事業に必要な事務経費及び公用車の維持管理に要する経費を支出した。					
	○地域公民館長の配置		13,894千円			
	・報酬（166,500円×12か月×6人）		11,988千円			
	・共済費		社会保険料、労災保険料、雇用保険料 1,906千円			
	○旅 費		全国・近畿・府公民館大会参加等		278千円	
	○需用費		公民館大会参加経費（資料代）、公民館資料代		714千円	
			公用車燃料、食糧費（来客用お茶）、車検修理代			
	○役務費		自動車登録手数料、自動車損害保険料		236千円	
	○委託料		バス運転手委託料		37千円	
	○使用料及び賃借料		公民館大会参加有料道路通行料・駐車料		104千円	
		AED借上料				
○負担金		京都府公民館連絡協議会分担金		34千円		
○公課費		自動車重量税		44千円		
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金				61千円
成果・課題	地域公民館の安定的な運営体制と、公民館職員としての研修機会を確保することができた。					
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	03図書館費	01図書館管理運営事業	
細事業名	01 図書館管理運営事業			決算書	P.144
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
48,650千円	48,849千円	199千円	99.5%	49,155千円	
目的	生涯学習の拠点として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、資料の収集、整理、保存、提供を行うとともに、各種行事等により幅広い年代の利用者拡大を図る。				
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償(委員10人、2回開催)				73千円
	○図書館(2館)、図書室(4室)の管理運営費				48,577千円
	・臨時職員賃金(臨時職員18人及び臨時代行職員)				27,812千円
	・図書購入費(AV資料含む)				9,279千円
	・雑誌新聞購入費				1,274千円
	・図書システム保守料				326千円
	・図書館専用サイト使用料				1,505千円
	・その他経費(共済費、旅費、光熱水費、コピー機借上料				8,381千円
	空調設備保守点検委託料ほか)				
	<利用状況等>				
	蔵書数(年度末時点)	年間貸出冊数	年間貸出者数		
峰山図書館	80,062点	76,635点	15,227人		
あみの図書館	106,240点	112,507点	21,483人		
大宮図書室	35,693点	66,304点	11,786人		
弥栄図書室	27,165点	31,153点	6,026人		
丹後図書室	27,421点	26,313点	5,278人		
久美浜図書室	28,660点	39,248点	7,325人		
合 計	305,241点	352,160点	67,125人		
<具体的なサービス内容>					
・資料(図書・AV資料・雑誌新聞)の収集・整理・保存・貸出					
・レファレンスサービス(読書案内、利用者の調査研究等の援助)					
・図書館相互協力(主に京都府内の図書館との資料の貸借)					
・読み聞かせ、おはなし会、科学あそび教室、大人を対象とした朗読等の行事開催					
・学校、幼稚園、保育所、こども園等との連携による読書推進事業					
主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金			1,300千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			5,000千円
成果・課題	○6館(室)により市内全域にサービスを行い、市民ニーズを反映した、利用しやすく親しみの持てる図書館に近づけるよう、小中学校との連携、事業の開催など、図書を利用した多様な学習機会の提供を図った。 ○今後も未利用者などへの図書館活動の周知に努めるなど、利用拡大を図る必要がある。 ○丹後図書室の移転整備を進めるとともに、中心となる図書館の在り方について、引き続き検討する必要がある。				
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業		
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業				決算書	P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
5,981千円		6,136千円	155千円	97.4 %	7,606千円	
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
主要な 事務・ 事業の 概要	網野郷土資料館の老朽化に伴い、旧郷小学校校舎へ資料を移転し、平成30年4月に開館した。豊富に残る寄贈を受けた市所蔵の民俗資料を適切に保管・公開するとともに、「戦時中のくらし」や「むかしの装い展」、「こどもの節句展」などの企画展示を開催し、文化財の普及啓発活動を行った。また、体験ができるイベントとして「郷土資料館まつり」を行い、周知活動をするとともに、資料館の維持管理運営を行った。 平成30年度入館者数 1,684人					
	○人件費		1,082千円			
	・臨時職員賃金、共済費 臨時職員2人分の賃金と労災保険料					
	○維持管理経費		2,690千円			
	・光熱水費		1,064千円			
	・消耗品費、燃料費、印刷製本費		405千円			
	・通信運搬費等		93千円			
	・機械警備委託料		82千円			
	・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等）		344千円			
	・修繕料（消防設備不良修繕等）		576千円			
・保険料（火災保険）		52千円				
・その他管理経費（コピー機リース料、テレビ受信料）		74千円				
○旧郷土資料館関係経費		2,172千円				
・工事設計委託料（旧網野郷土資料館解体等費用）						
○体験用経費		37千円				
・原材料費（体験キット）		19千円				
・報償費（郷土資料館まつり謝礼）		18千円				
主な財源	使用料	郷土資料館入館料			54千円	
成果・課題	○網野郷土資料館から旧郷小学校校舎へ資料等を移転し、「京丹後市立郷土資料館」として平成30年4月に開館した。 ○市内小学生の社会科見学の受け入れを行い、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。 ○今後、展示物の配置や展示の仕方などを工夫、改善していくことが必要である。					
所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業		
細 事 業 名	01 古代の里資料館管理運営事業				決算書	P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
9,529千円		9,643千円	114千円	98.8 %	9,475千円	
目 的	郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市所蔵考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため、夏休みの市内小学生入館無料、「新指定文化財」、「墓石ができるまで～中世墓地の展開と近世墓地の成立～」,「丹後震災を描く」と題した企画展示等を開催するとともに、丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。 平成30年度入館者数 3,259人（平成29年度入館者数 3,491人） ○人件費 5,744千円 ・資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,438千円 - 資料館長報酬 166,500円×12か月＝1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,306千円 - 臨時職員3人分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担分 ○維持管理経費 3,680千円 ・光熱水費 1,217千円 ・消耗品費、燃料費、印刷製本費 434千円 ・通信運搬費等 145千円 ・機械警備委託料 84千円 ・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等） 535千円 ・土地借上料（2,915㎡） 304千円 ・修繕料（排水用水中ポンプ修繕等） 821千円 ・保険料（火災保険） 27千円 ・その他管理経費（清掃用具借上・コピー機リース等） 113千円 ○体験用経費 105千円 ・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） 70千円 ・報償費（窯焼謝礼） 35千円					
主 な 財 源	使用料	古代の里資料館入館料				531千円
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金				17千円
	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料				94千円
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金				182千円
成 果 ・ 課 題	○考古・歴史資料を紹介する企画展示等を開催し、文化財の普及啓発を図った。 ○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。 ○開館から20年以上経過しているため、屋内外の設備更新及び屋外施設（竪穴式住居等）の修繕等が今後の検討課題である。					
所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細 事 業 名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
8,505千円		8,506千円	1千円	99.9 % 8,346千円
目 的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理制度により、掛津区が管理運営を行っている。教育施設の性格を持つとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。 平成30年度入館者数 9,787人（平成29年度入館者数 11,705人） ○委託料 7,100千円 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 ○使用料及び賃借料 1,245千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び 駐車場用地賃借料 ○備品購入費（事務用パソコン1台） 160千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。一方、観光業者との連携に努めたものの、館への誘客に結びつかなかったため、前年度と比べ入館者減となった。 ○リピーターを含む市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕など市の施設として適正な運営に努める必要がある。			
所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	01峰山いさなご施設管理運営事業
細 事 業 名	01 峰山いさなご施設管理運営事業			決算書 P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率
7,456千円		7,584千円	128千円	98.3 %
				(参考)当初予算額 7,584千円
目 的	林業の振興ほか、スポーツ及びレクリエーション活動による高齢者の介護予防、生きがいづくりを推進し、市民福祉の向上を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持管理を行った。			
	＜利用状況＞			
		利用回数	利用人数	
	林業センター	160回	2,508人	
	いさなご工房	288回	1,135人	
	いさなごコート	382回	6,773人	
	合 計	830回	10,416人	
	○管理者経費及び臨時職員賃金 4,681千円			
	・施設管理者報酬（1人） 1,998千円			
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 337千円			
・臨時職員賃金（2人） 2,301千円				
・旅費 45千円				
○管理運営経費 2,775千円				
・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 2,269千円				
・役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料） 158千円				
・委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料） 298千円				
・使用料及び賃借料（テレビ受信料、機械器具借上料） 50千円				
主 な 財 源	使用料	峰山林業総合センター使用料	93千円	
	使用料	峰山いさなご工房使用料	669千円	
	使用料	峰山いさなごコート使用料	239千円	
	使用料	公有財産使用料	56千円	
	諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料	285千円	
成 果 ・ 課 題	適切な施設管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民の学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。			
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課		

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02マスタースピレッジ管理運営事業	
細事業名	01 マスタースピレッジ管理運営事業			決算書 P.146	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
15,466千円	15,780千円	314千円	98.0 %	14,538千円	
目的	大宮ふれあい工房（陶芸・染色体験施設等）、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、市民の交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。				
主要な事務・事業の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持管理を行った。				
	<利用状況>				
	ふれあい工房	展示室	利用者数	3,612人	
		会議室	利用者数	1,223人	
		陶芸体験	入場者数	973人	
			(内体験者数)	(649人)	
		染色体験	入場者数	1,069人	
			(内体験者数)	(762人)	
		その他	利用者数	2,489人	
	ふれあいスポーツ広場		利用者数	7,502人	
	合 計		16,868人		
	○マスタースピレッジ施設管理運営委託料 10,756千円				
	委託先：（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部				
	○施設維持管理経費 3,191千円				
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等） 2,514千円				
・役務費（通信運搬費、火災保険料） 119千円					
・委託料（電気設備保安管理委託料、草刈委託料等） 500千円					
・使用料及び賃借料（テレビ受信料、清掃用具借上料等） 58千円					
○施設修繕工事費（高圧ケーブル改修工事） 1,188千円					
○体験事業経費（材料代） 331千円					
主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料		1,747千円	
	使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料		274千円	
	諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入		44千円	
成果・課題	○陶芸、染色実習室、展示、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいづくり及び健康増進に寄与することができた。 ○効率的・効果的な運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、運営方法の見直しなどについて検討する必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02マスタースピレッジ管理運営事業
細事業名	01 マスタースピレッジ管理運営事業（繰越）			決算書 P.146
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,805千円	5,162千円	357千円	93.0 %	5,162千円
目的	部分的な異常があり使用停止としていた「あそびの広場」内の遊具について、必要な修繕を行う。			
主要な事務・事業の概要	○需用費（修繕費） 4,449千円 ・大宮ふれあい工房遊具修繕（支柱・床板・鉄柵等交換、支柱木材・金物補強、隙間は正、ブランコ撤去ほか） ○委託料 356千円 ・大宮ふれあい工房遊具改修工事実施設計・監理業務委託料			
主な財源				
成果・課題	遊具を修繕したことにより安心して利用できる環境が整備できた。			
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	03たちばな会館管理運営事業
細事業名	01 たちばな会館管理運営事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,190千円		1,207千円	17千円	98.5 % 1,207千円
目的	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。			
主要な事務・事業の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持・管理を行った。			
	＜利用状況＞			
	・ 会議室等		・ 図書室	
	区 分	利用回数	利用者数	開室日数
	会議室	56回	671人	245日
	料理実習室	24回	333人	利用者数
	和室1	91回	769人	35人
	和室2	91回	769人	貸出冊数
	多目的ホール	129回	2,168人	210冊
	合 計	391回	4,710人	
○ 施設維持管理費 1,190千円				
・ 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 645千円				
・ 役務費（通信運搬費、火災保険料） 65千円				
・ 委託料（施設管理委託料） 480千円				
主な財源	諸収入 たちばな会館光熱水費負担金			315千円
成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○公共施設見直し計画等に基づき検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。			
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課		

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	04網野教育会館管理運営事業
細 事 業 名	01 網野教育会館管理運営事業			決算書 P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
1,224千円	1,264千円	40千円	96.8 %	1,264千円
目 的	人権学習や地域の生涯学習・コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに、利用の促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持・管理を行った。			
	＜利用状況＞			
	・ 会議室等			
	区 分	利用回数	利用者数	
	1階和室	90回	1,014人	
	料理実習室	2回	14人	
	講義室	32回	124人	
	2階和室	1回	5人	
	大ホール	248回	1,818人	
	全 館	18回	1,104人	
合 計	391回	4,079人		
主 な 財 源	○施設維持管理費 1,224千円			
	・ 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 536千円			
	・ 役務費（通信運搬費、火災保険料等） 47千円			
	・ 委託料（施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料等） 627千円			
	・ 使用料及び賃借料（テレビ受信料） 14千円			
成 果 ・ 課 題	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。			
	○公共施設見直し計画等に基づき検討している施設の管理方法などの見直しについては、引き続き地元の意向を聞きながら進めていく必要がある。			
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課		

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業
細 事 業 名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書 P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
191千円	218千円	27千円	87.6 %	218千円
目 的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○文化財保護審議会の開催経費 132千円 市文化財の指定、市指定文化財の管理・現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため、審議会を開催した。 ・報酬 半日×2回(4千円×15人) 116千円 1日×1回(7千円×8人) ・費用弁償 16千円 ○両丹文化財保護連絡協議会の参加経費 59千円 平成30年度は与謝野町で開催。 事前の打ち合わせ会議の出席(平成30年6月18日) 会長1人 当日の協議会(平成30年10月23日)への出席 ・報酬 53千円 事前打ち合わせ 半日×1人(4千円×1人) 協議会出席 1日×7人(7千円×7人) ・費用弁償 6千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。 ○新たな文化財指定について審議を行い、現地調査を行った。次年度以降の指定に向け、審議を進めることができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において報告や意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。			
所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細 事 業 名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,000千円	2,000千円	0千円	100.0 %	2,000千円
目 的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○京丹後市指定文化財等補助金 14件 2,000千円 (内訳) ・国、府指定・登録文化財補助金該当 5件 833千円 ・京都府社寺等文化資料保全補助金該当 9件 1,167千円 (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの) 事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、郷土芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などで、事業費の総額は、16,523千円であった。 ※参考 平成29年度事業実績 補助件数 26件 補助金額 2,500千円 事業総額 35,328千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。			
所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,357千円	1,451千円	94千円	93.5 %	1,237千円
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。			
主要な事務・事業の概要	○コウノトリモニタリング事業報償費 213千円 天然記念物のコウノトリが市内で営巣・産卵したため、監視員を置き観察・記録するとともに巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。 (述べ25日、25人) ○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 928千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、湯舟坂2号墳、竹野神社など15件 ○指定文化財関連施設管理経費 89千円 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持経費 64千円 火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 25千円 ○京丹後市指定文化財看板等修繕事業(土地借上、修繕費) 23千円 国・府指定文化財の看板1基(大田南5号墳)の修繕を行った。また従前から設置している看板(比沼麻奈為神社案内、月の輪田・清水戸案内、鳴き砂案内)の土地借上料を支出した。 ○京丹後市指定文化財看板等設置事業(工事請負費) 104千円 国・府指定文化財をもつ大宮売神社への案内看板の設置工事を行った。			
主な財源				
成果・課題	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。 ○課題として、指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、適時整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。			
所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
13,301千円		33,761千円	20,460千円	39.3 % 53,615千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。			
主要な事務・事業の概要	国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定した「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図りつつ整備を行うため、史跡整備検討委員会を2回開催した。検討委員会及び文化庁等の指導を受け、平成30年度整備工事予定部分について「網野銚子山古墳環境整備実施設計」を行い、工事を実施した。			
	なお、平成30年度整備工事は、工法の検討に時間を要し、年度内に工事完了が見込めなかったため、令和元年度に繰越した。			
	○網野銚子山古墳整備事業費		13,301千円	
	・報酬費	史跡整備検討委員会委員報酬	118千円	
	・旅費	史跡整備検討委員会委員参集旅費、協議旅費	159千円	
	・需用費	整備事業事務消耗品費	27千円	
	・委託料	維持管理草刈委託料	793千円	
		銚子山古墳環境整備工事実施設計委託料	2,484千円	
	・工事請負費	銚子山古墳環境整備工事費（前金払分）	9,720千円	
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	13,481千円
		実質的な予算執行率	98.6 %	
	■令和元年度への繰越事業			
	網野銚子山古墳環境整備事業	令和元年9月完成予定	20,280千円	
	・工事請負費		18,464千円	
	・工事施工監理業務委託料		1,816千円	
主な財源	国補市債	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2） 遺跡整備事業債（過疎対策債）	6,142千円 6,000千円	
成果・課題	史跡整備検討委員会の指導を受け、網野銚子山古墳の保存を図るとともに、環境整備工事を行うために必要な実施設計を作成できた。			
所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目		10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業		
細 事 業 名		01 遺跡発掘調査等事業				決算書	P.146
総 合 計 画		計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
4,331千円		4,408千円	77千円	98.2 %	3,792千円		
目 的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	整備に先立って網野銚子山古墳発掘調査を実施した。また開発対応として、府営農業競争力強化基盤整備事業に伴う女布遺跡の発掘調査、市道整備計画に先立つ林・大將軍遺跡の範囲確認調査を実施し、調査報告書を刊行したほか、遺跡分布調査を実施した。						
	○網野銚子山古墳発掘調査						3,497千円
	・ 現地調査期間 平成30年5月21日～12月25日						
	調査補助員賃金、共済費 1,611千円 作業員派遣委託料 1,555千円						
	需用費 ブルーシート、写真現像経費等 216千円 旅費 10千円						
	使用料及び賃借料、役務費 発電機借上、トイレ借上等 105千円						
	・ 調査成果 後円部では良好な状態のふき石や埴輪列を確認し、整備のための材料を得た。くびれ部もふき石が良好に残ることを確認した。						
	○女布遺跡発掘調査						509千円
	・ 現地調査期間 平成30年7月2日～7月19日						
	調査補助員賃金、共済費 114千円 作業員派遣委託料 136千円						
需用費等 ブルーシート、写真現像経費、印刷製本費等 84千円							
使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上、役務費等 175千円							
・ 調査成果 調査を行った範囲では、あきらかな遺構は見つからなかった。							
○林・大將軍遺跡発掘調査						209千円	
・ 現地調査期間 平成30年9月25日～9月28日							
調査補助員賃金、共済費 37千円 需用費等 印刷製本費 29千円							
使用料及び賃借料 重機借上 143千円							
・ 調査成果 調査の結果、遺跡の範囲や残存状況を確認できた。							
○市内遺跡分布調査						116千円	
・ 現地調査期間 平成31年1月9日～2月27日							
調査補助員賃金、共済費 116千円							
主 な 財 源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1/2)					2,000千円
	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金 (1/4)					1,000千円
成 果 ・ 課 題	○網野銚子山古墳の発掘調査では、残りの良い遺構を確認することができ、今後の整備につながる知見を得た。また、くびれ部の調査は次年度に継続することとなった。 ○開発に先立つ発掘調査、確認調査では、遺跡の範囲や残り具合を確認でき、今後の開発事業との調整のための資料を得た。 ○市内遺跡分布調査では、将来の開発に備えた補足調査を実施することができ、今後の遺跡地図作成と文化財保護に役立つ知見を得た。						
所 管 課		教育委員会事務局／文化財保護課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業		
細 事 業 名	01 遺跡発掘調査等事業（繰越）				決算書	P.146
総 合 計 画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）当初予算額	
2,317千円		4,194千円	1,877千円	55.2 %	4,194千円	
目 的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成29年度より実施した途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画に伴う途中ヶ丘遺跡の試掘調査を行い、その成果をまとめた報告書を刊行した。 ○途中ヶ丘遺跡発掘調査事業 ・現地調査期間 平成30年1月15日～5月2日 - 需用費 途中ヶ丘遺跡発掘調査報告書印刷製本費 43千円 - 委託料 途中ヶ丘遺跡発掘調査掘削及び現状復旧業務委託料 2,274千円 ・調査成果 調査地の大部分は、公園造成による盛土であったが、遺跡の中心に近い西側の試掘トレンチでは、調査・工事履歴のない遺物を含む層を確認した。					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	試掘調査の実施および報告書の刊行により、今後計画されるグラウンド整備工事などの開発事業に対し、文化財保護を図りつつ円滑な調整を行うための資料を得ることができた。					
所 管 課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費		
細 事 業 名	01 文化財保護一般経費				決算書	P.146
総 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
295千円	325千円	30千円	90.7 %	325千円		
目 的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○文化財関係加盟団体経費70千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金 ・全国史跡整備市町村協議会40千円 ・全史協近畿地区協議会10千円 ・全国鳴き砂ネットワーク20千円 ○文化財収蔵施設維持管理費76千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 (成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) ・光熱水費36千円 ・火災保険料17千円 ・草刈委託料23千円 ○一般事務経費149千円 ・消耗品費46千円 ・旅費(史跡整備市町村協議会会議出席等)103千円					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。					
所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	01スポーツ推進委員活動事業																					
細 事 業 名	01 スポーツ推進委員活動事業				決算書 P.148																				
総 合 計 画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																							
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
3,374千円	3,440千円	66千円	98.0 %	3,839千円																					
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。																								
主要な事務・事業の概要	スポーツ推進委員52人を委嘱し、スポーツ推進のため、住民の求めに応じノルディック・ウォーキング体験会やニュースポーツ体験会を開催した。また、スポーツの実技指導を行うため、各種研究大会へ参加し、資質向上に努めた。 <活動内容> ・ノルディック・ウォーキング体験会の開催（年間34回、326人参加） ・ニュースポーツ体験会の開催（ビーチボールバレーほか 年間85回、1,191人参加） ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか） <table><tr><td>○スポーツ推進委員報酬（市職員1人を除く51人分）</td><td>2,538千円</td></tr><tr><td>○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）</td><td>546千円</td></tr><tr><td>○需用費（消耗品費、燃料費）</td><td>19千円</td></tr><tr><td>○役務費（スポーツ安全保険料）</td><td>96千円</td></tr><tr><td>○委託料（バス運転委託料）</td><td>60千円</td></tr><tr><td>○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）</td><td>29千円</td></tr><tr><td>○負担金、補助及び交付金</td><td>86千円</td></tr><tr><td>・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金</td><td>46千円</td></tr><tr><td>・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金</td><td>18千円</td></tr><tr><td>・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金</td><td>22千円</td></tr></table>					○スポーツ推進委員報酬（市職員1人を除く51人分）	2,538千円	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）	546千円	○需用費（消耗品費、燃料費）	19千円	○役務費（スポーツ安全保険料）	96千円	○委託料（バス運転委託料）	60千円	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）	29千円	○負担金、補助及び交付金	86千円	・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金	46千円	・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金	18千円	・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金	22千円
○スポーツ推進委員報酬（市職員1人を除く51人分）	2,538千円																								
○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）	546千円																								
○需用費（消耗品費、燃料費）	19千円																								
○役務費（スポーツ安全保険料）	96千円																								
○委託料（バス運転委託料）	60千円																								
○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）	29千円																								
○負担金、補助及び交付金	86千円																								
・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金	46千円																								
・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金	18千円																								
・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金	22千円																								
主な財源																									
成果・課題	○「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後は、スポーツへの参加機会の提供だけではなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を図る必要がある。																								
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）																								

予 算 科 目		10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	03社会体育団体体育成事業	
細 事 業 名		01 社会体育団体体育成事業				決算書 P.148
総 合 計 画		計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
20,140千円		20,256千円	116千円	99.4 %	20,429千円	
目的	スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民のスポーツ振興を図るとともに、青少年の健全育成を図る。					
主要な 事業・ 事業の 概要	本市の体育振興の中心的な組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、京丹後市スポーツ少年団に対して、スポーツによる青少年の健全育成の観点から支援を行った。					
	○旅費、需用費、使用料及び賃借料				19千円	
	・京丹後市体育協会の法人化検討に向けた先進地視察の実施 視察先：綾部市体育協会、亀岡市体育協会、向日市体育協会					
	○京丹後市体育協会補助金				15,727千円	
	・体育事業の開催、支援 スポーツ指導者研修会の開催（10月18日） 府民総合体育大会 各競技への支援（年間） ・広報紙発行（年3回）					
主 な 財 源	○京丹後市スポーツ少年団活動補助金				3,894千円	
	・加入団体数 : 69団体 ・参加児童生徒数：1,535人 ・指導者数 : 361人					
	○子どもスポーツ推進事業補助金				500千円	
	・補助団体：京丹後市スポーツ少年団、野村克也杯学童野球大会実行委員会					
	繰入金 ふるさと応援基金繰入金				3,000千円	
成果・課題	○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○青少年のスポーツ活動への参加促進を引き続き支援するとともに、統括組織としての京丹後市スポーツ少年団の在り方、活動内容等の見直しを検討する必要がある。 ○京丹後市体育協会のさらなる組織強化、効果的な事業実施に向け、法人化等の方策の検討を支援する必要がある。					
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）				

予 算 科 目		10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費		
細 事 業 名		01 保健体育総務一般経費				決算書	P.148
総 合 計 画		計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
300千円		485千円		185千円	61.8 %	256千円	
目 的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を開催し、市民の声を反映したスポーツ施策の推進を図る。						
主要な事務・事業の概要	京丹後市スポーツ推進審議会を開催し、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づくスポーツ推進に関する各種施策の進捗確認等を行った。 ○スポーツ推進審議会委員報酬 36千円 ・委員：12人、開催回数：1回（12月18日） ○旅費（費用弁償、普通旅費） 6千円 ○消耗品費 30千円 ○公用車修繕料（丹後ウルトラマラソン出動車両） 228千円						
主な財源	諸収入 諸収入	市有自動車損害共済金 市有自動車損害賠償金					162千円 66千円
成果・課題	「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づきスポーツ環境の整備等を推進する一方、一定の方針に基づく施設の見直しを進める必要がある。						
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）					

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費		
細 事 業 名	01 保健体育総務一般経費（繰越）				決算書	P.148
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
199千円		269千円	70千円	73.9 %	269千円	
目 的	平成30年3月に策定した「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の製本を行い、関係機関等への周知、普及等に活用し、計画に沿ったスポーツ施策の推進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○需用費（印刷製本費） ・ 第2次京丹後市スポーツ推進計画印刷製本（500部） <					

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01スポーツのまちづくり推進事業
細 事 業 名	01 地域スポーツ推進事業			決算書 P.148
総 合 計 画	計 画 項 目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,163千円		6,303千円	140千円	97.7 % 6,614千円
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進する。			
主要な事務・事業の概要	市民を対象とした各種スポーツ大会の実施及び支援を行った。 ○報償費 84千円 ・各種スポーツ大会等審判員謝金 18千円 はしうど杯卓球選手権大会（12月9日）参加者113人 ・各種スポーツ大会入賞記念品 66千円 京丹後市総合体育大会、弥栄町文化祭駅伝大会、はしうど杯卓球選手権大会 ○旅費（職員旅費） 5千円 ○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） 321千円 ○役務費（通信運搬費、手数料） 71千円 「京丹後チャレンジデー2019」プレイベント（10月31日、参加者 17,245人） ○委託料 930千円 ・カヌースプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会運営委託料 795千円 （5月19日、6月2日、10月27日）102人参加 ※春季大会は悪天候のため中止 ・市長杯中学生野球大会開催委託料（6月2・3日）市内6校参加 101千円 ・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料（11月3日）220人参加 17千円 ・府民総合体育大会バス運転委託料（2月10日） 17千円 ○使用料及び賃借料（有料道路使用料） 4千円 ○負担金、補助金及び交付金 4,748千円 ・府民総合体育大会（8月～2月）15競技参加 1,448千円 ・市民総合体育大会（9月2日）23種目 2,000人参加 3,300千円			
主な財源				
成果・課題	○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。 ○今後は、障害のある人や配慮が必要な様々な人が参加できるスポーツの普及にも努めたい。			
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01スポーツのまちづくり推進事業																																										
細事業名	02 スポーツ・文化・観光推進事業			決算書 P.148																																										
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進																																												
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																																										
11,669千円		11,833千円	164千円	98.6 % 12,832千円																																										
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じて本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。																																													
主要な事務・事業の概要	ONISSIN Rally丹後2018管理運営委託料等			766千円																																										
	○サンセットビーチフェス in Kyotango 実行委員会補助金			1,714千円																																										
	○京丹後市ドラゴンカヌー大会実行委員会補助金			1,800千円																																										
	○丹後半島ラリー2018 管理運営委託料等			363千円																																										
	○歴史街道丹後100kmウルトラマラソン 実行委員会補助金			3,500千円																																										
	○あみの八丁浜ロードレース大会 事業補助金			1,050千円																																										
	○丹後大学駅伝 後援会負担金			900千円																																										
	○久美浜湾一周駅伝競走大会 運営委託料			1,442千円																																										
	○その他経費（職員出張旅費、有料道路通行料、消耗品等）			134千円																																										
	＜大会の実施状況＞																																													
<table><tr><td colspan="2">大会名</td><td>開催日</td><td>参加</td></tr><tr><td colspan="2">NISSIN Rally丹後2018</td><td>4/28・29(土・日)</td><td>87台、174人</td></tr><tr><td rowspan="2">サンセットビーチフェス in Kyotango</td><td>ビーチバレーボール</td><td>6/16・17(土・日)</td><td>58チーム、235人</td></tr><tr><td>SUP</td><td>7/1(日)</td><td>166人</td></tr><tr><td colspan="2">京丹後市ドラゴンカヌー大会</td><td>8/5(日)</td><td>91チーム、1,092人</td></tr><tr><td colspan="2">丹後半島ラリー2018</td><td>8/25・26(土・日)</td><td>90台、180人</td></tr><tr><td colspan="2">歴史街道丹後100kmウルトラマラソン</td><td>9/16(日)</td><td>3,315人</td></tr><tr><td colspan="2">あみの八丁浜ロードレース大会</td><td>10/14(日)</td><td>548人</td></tr><tr><td colspan="2">丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)</td><td>11/17(日)</td><td>22チーム、440人</td></tr><tr><td colspan="2">久美浜湾一周駅伝競走大会</td><td>11/23(金・祝)</td><td>74チーム、444人</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td></td><td>6,594人</td></tr></table>				大会名		開催日	参加	NISSIN Rally丹後2018		4/28・29(土・日)	87台、174人	サンセットビーチフェス in Kyotango	ビーチバレーボール	6/16・17(土・日)	58チーム、235人	SUP	7/1(日)	166人	京丹後市ドラゴンカヌー大会		8/5(日)	91チーム、1,092人	丹後半島ラリー2018		8/25・26(土・日)	90台、180人	歴史街道丹後100kmウルトラマラソン		9/16(日)	3,315人	あみの八丁浜ロードレース大会		10/14(日)	548人	丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)		11/17(日)	22チーム、440人	久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(金・祝)	74チーム、444人	合 計			6,594人
大会名		開催日	参加																																											
NISSIN Rally丹後2018		4/28・29(土・日)	87台、174人																																											
サンセットビーチフェス in Kyotango	ビーチバレーボール	6/16・17(土・日)	58チーム、235人																																											
	SUP	7/1(日)	166人																																											
京丹後市ドラゴンカヌー大会		8/5(日)	91チーム、1,092人																																											
丹後半島ラリー2018		8/25・26(土・日)	90台、180人																																											
歴史街道丹後100kmウルトラマラソン		9/16(日)	3,315人																																											
あみの八丁浜ロードレース大会		10/14(日)	548人																																											
丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)		11/17(日)	22チーム、440人																																											
久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(金・祝)	74チーム、444人																																											
合 計			6,594人																																											
主な財源	府補 未来づくり交付金（スポーツ・文化・観光推進事業）			3,500千円																																										
成果・課題	○各種スポーツイベントの開催・支援により、出場者（全体で6,594人）のほか、応援者、関係者等を含め約31,600人が参加し、地域における経済効果及び市の魅力発信につながった。 ○ウルトラマラソンなどでは、民間企業の参画を増やすなど、ボランティアスタッフの一層の確保に努め、市の支援のあり方などの見直しを引き続き検討する。																																													
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）																																													

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02国際ｽﾎﾟｰﾂﾊﾞﾝﾄﾞ推進事業
細 事 業 名	01 オリﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸﾎｽﾄﾀｳﾝ推進事業			決算書 P.148
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
6,694千円		37,032千円	30,338千円	18.0 % 37,937千円
目的	2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加並びにスポーツによる地域の活性化を図る。			
主要な事務・事業の概要	＜ホストタウン推進事業＞ 韓国ソリョン高校、韓国カヌー連盟との交流等 1,656千円			
	○報償費（記念品）、旅費、需用費 1,012千円			
	○委託料（ホストタウン事業委託料） 590千円			
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料） 54千円			
	＜オリンピック事前合宿地視察等受入＞ スペインほか4か国受入 2,442千円			
	○報償費（記念品）、旅費、需用費 321千円			
	○役務費（手数料）、委託料（会場設営委託料） 1,627千円			
	○使用料及び賃借料（自動車借上料、船舶借上料等） 494千円			
	＜オリ・パラフラッグツアー、スポーツのバリアフリー講演会＞ 274千円			
	○委託料（会場設営委託料等） 248千円			
	○使用料及び賃借料（宿泊施設使用料） 26千円			
	＜外国語セミナー開催事業＞ 500千円			
○委託料（外国語セミナー、宿泊施設外国人受入セミナー）				
＜全国高等学校カヌー長距離選手権大会＞ 1,574千円				
○委託料（コース設置・会場設営委託料等） 834千円				
○備品購入費（マークプライ） 740千円				
＜その他＞（旅費、消耗品費、有料道路通行料） 248千円				
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,752千円
			実質的な予算執行率	99.1 %
■令和元年度への繰越事業				
カヌーコース整備事業		令和元年10月完了予定		30,280 千円
・久美浜湾カヌー競技場カヌー艇庫・コース設計業務				7,340 千円
・久美浜湾カヌー競技場1000mコース整備事業				16,071 千円
・久美浜湾カヌー競技場1000mコース備品購入				6,869 千円
主な財源	諸収入 参加者負担金			60千円
成果・課題	○ホストタウン交流事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流促進や、本市のスポーツ・観光情報等を発信をすることができた。 ○バリアフリー講演会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深めるとともに、全ての市民が身近にスポーツを親しむ環境づくりのための契機となった。 ○継続的な交流事業等の実施により、スポーツを通じたまちづくりを推進する必要がある。			
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02国際スポーツの推進事業		
細事業名	02 ワールドマスタースゲームズ 関西推進事業				決算書	P.148
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
723千円		754千円		31千円	95.8%	1,534千円
目的	ワールドマスタースゲームズ2021関西 (WMG) の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり並びに地域の活性化を図る。					
主要な事務・事業の概要	WMGの開催に向け、競技運営に係る情報収集や大会運営に必要な施設整備のために、視察調査や国際カヌー連盟の視察受入れを行うとともに、情報発信のための啓発チラシを作成した。					
	OWMG啓発チラシ（日本語版・英語版）作成					352千円
	・印刷製本費					39千円
	・リーフレット作成委託料					313千円
	OWMG審判養成講習会（11月2日～4日、5人参加）					127千円
	・旅費（費用弁償、特別旅費）					124千円
・需用費（燃料費）					3千円	
O国際カヌー連盟会長視察受入れ等					72千円	
・旅費（普通旅費）					46千円	
・需用費（消耗品費）					7千円	
・使用料及び賃借料（有料道路通行料）					19千円	
OWMG京都府実行委員会負担金					172千円	
主な財源						
成果・課題	O大会視察等を行い、競技運営に必要な情報、設備等について確認することができた。 O審判養成講習会の中で、審判員としての技能習得に加え、障害者スポーツについての知識を習得し、今後の大会運営等で役立てることが可能となった。 O市内における大会の周知・啓発及び国内外に向けた大会情報等の発信を強化する必要がある。 Oカヌー競技場内の施設・設備の改修など、計画的に環境整備を進める必要がある。					
所管課		教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）				

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業	
細事業名	01 体育施設管理運営事業			決算書	P.148
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
48,633千円		49,657千円	1,024千円	97.9 %	49,339千円
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	市民がスポーツに親しみやすい環境を整えるため、体育施設の維持管理を行った。				
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）	28,925千円			
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等）	1,278千円			
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）	15,084千円			
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）	575千円			
	○工事請負費（大宮自然運動公園芝生補修工事ほか5件）	2,398千円			
	○備品購入費（テニスネット等）	373千円			
	＜利用状況＞				
	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	5件			
	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）	483件			
大宮社会体育館	976件				
網野グラウンド（グラウンド、屋内ゲートボール場）	526件				
網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）	1,248件				
丹後社会体育館	460件				
弥栄総合運動公園 （体育館、グラウンド、屋根付ゲートボール場など）	1,601件				
久美浜中央運動公園 （グラウンド、テニスコート、屋根付ゲートボール場など）	959件				
その他の体育施設（31施設）	4,097件				
合 計		10,355件			
主な財源	使用料	社会体育施設使用料	2,631千円		
	使用料	公有財産使用料	341千円		
	諸収入	自動販売機売上料	36千円		
	諸収入	旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金	487千円		
	諸収入	旧大宮第三小学校施設光熱水費利用負担金	145千円		
成果・課題	○施設の適切な維持管理を行うことで、市民スポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○スポーツ活動拠点の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設見直し計画等に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）				

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	03ｽﾎﾟｰﾂ施設整備基金	
細 事 業 名	01 ｽﾎﾟｰﾂ施設整備基金				決算書 P.148
総 合 計 画	計 画 項 目	29 効率的・効果的な行財政運営			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
560千円	560千円	0千円	100.0 %	0千円	
目 的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○スポーツ施設整備基金積立金				560千円
	(参考) 基金の状況				(単位：千円)
	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額			平成30年度末 現 在 高
	①	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+(③+④)
		0	0	560	560
	※平成31年2月 京丹後市スポーツ施設整備基金条例制定				
主 な 財 源	府補	広域的ｽﾎﾟｰﾂ施設充実支援事業補助金 (1/3)			560千円
成 果 ・ 課 題	スポーツ施設の整備のための基金を造成し、積立を行った。				
所 管 課	教育委員会事務局／生涯学習課 (スポーツ推進室)				

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	02網野給食センター管理運営事業	
細 事 業 名	01 網野給食センター管理運営事業			決算書	P.150
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
36,989千円	37,309千円	320千円	99.1 %	41,293千円	
目的	網野幼稚園、小学校4校（網野北・網野南・島津・橘）、網野中学校に栄養バランスの取れた給食を提供し、心身の健全な発達に寄与する。				
主要な 事業の 概要	○臨時職員				13,000千円
	給食調理員（11人）、事務補助員（1人）				
	・ 共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）				1,074千円
	・ 賃金				11,926千円
	○給食調理及び配送関連経費等				10,674千円
	・ 需用費 消耗品費 厨房用消耗品ほか				1,752千円
	燃料費 ボイラ用灯油代、ガス代、配送車燃料				3,421千円
	光熱水費 電気料金、上水道料金				4,572千円
	・ 役務費 通信運搬費 電話料金				83千円
	検便検査手数料、ごみ持ち込み手数料				123千円
主 な 財 源	・ 委託料 配送車運転委託料（3台のうち1台）				723千円
	○施設及び機器類関連経費等				13,315千円
	・ 需用費 車両関係修繕料 配送車3台、軽トラック点検修理				420千円
	施設設備修繕料 合併浄化槽、空調、調理機器ほか				1,706千円
	・ 役務費 地下タンク検査手数料、自動車損害保険料ほか				444千円
	・ 委託料 浄化槽維持管理委託料、電気設備保守点検業務委託料				1,475千円
	給食施設消毒委託料、消防用設備保守点検委託料				108千円
	・ 備品購入費				
	学校給食用連続式自動揚物機1台				7,236千円
	給食配送用コンテナ3台、L型運搬車2台ほか				1,123千円
成 果 ・ 課 題	給食用備品（防水デジタル台はかり、二槽シンクほか）				673千円
	・ その他 自動車重量税、テレビ受信料、旅費、印刷製本費				130千円
所 管 課	教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	03網野給食センター施設整備事業
細 事 業 名	01 網野給食センター施設改修事業			決算書 P.150
総 合 計 画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,498千円	1,500千円	2千円	99.8 %	2,000千円
目的	安全・安心な給食を提供できるよう、網野給食センターの改修工事を行い、適切な施設管理を図る。			
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 1,498千円 ・網野学校給食センター屋上防水改修工事			
主な財源				
成果・課題	○施設の適切な維持管理により、学校給食運営を円滑に行うことができた。 ○給食センターの老朽化が進む中、施設の計画的な改修等を検討する必要がある。			
所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課			

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	04小学校給食管理運営事業	
細 事 業 名	01 小学校給食管理運営事業				決算書 P.150
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
131,013千円	131,239千円	226千円	99.8 %	131,884千円	
目的	栄養バランスの取れた給食を提供し、児童の心身の健全な発達に寄与する。				
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。				
	○臨時職員 給食調理員 7人（大宮第一小）	6,573千円			
	・ 共済費（社会保険料・労災保険料・雇用保険料）	426千円			
	・ 賃金	6,147千円			
	○需用費	13,814千円			
	・ 消耗品費・修繕料	1,897千円			
	・ 燃料費	11,917千円			
	○役務費	377千円			
	・ 手数料（備品移設手数料・包丁研磨手数料・廃家電処理手数料）				
	○委託料	108,675千円			
・ 給食調理業務委託料（13校）					
峰山小・いさなご小・しんざん小・長岡小					
大宮南小・豊栄小・間人小・宇川小・吉野小・弥栄小					
久美浜小・高龍小・かぶと山小					
○備品購入費	1,548千円				
・ 給食調理機器等					
牛乳冷蔵庫（網野北小・橘小）					
業務用冷凍庫・冷蔵庫（大宮第一小・大宮南小・弥栄小）					
洗米機（峰山小）ほか					
○負担金	26千円				
・ 全国学校栄養士協議会負担金	12千円				
・ 京都府学校給食研究会負担金	9千円				
・ 京都府学校栄養士協議会負担金	5千円				
主な財源	諸収入	小学校給食調理機器類貸付料			4,524千円
成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。				
所 管 課	教育委員会／学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	05中学校給食管理運営事業
細事業名	01 中学校給食管理運営事業			決算書 P.150
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率 (参考) 当初予算額
40,302千円		40,447千円	145千円	99.6 % 41,209千円
目的	栄養バランスの取れた給食を提供し、生徒の心身の健全な発達に寄与する。			
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			
	○臨時職員 給食調理員 10人	12,315千円		
	(峰山中4人、大宮中3人、久美浜中3人)			
	・共済費 (社会保険料・労災保険料・雇用保険料)	1,631千円		
	・賃金	10,684千円		
	○需用費	7,447千円		
	・消耗品費・修繕料	1,739千円		
	・燃料費	5,708千円		
	○役務費	469千円		
	・手数料 (備品移設手数料・包丁研磨手数料)			
○委託料	18,198千円			
・給食調理業務委託料 (2校) 丹後中・弥栄中				
○備品購入費	1,827千円			
・給食調理機器等				
牛乳冷蔵庫・洗米機 (峰山中)				
検食用冷凍庫・業務用冷凍冷蔵庫・トレイ (大宮中)				
消毒保管機 (弥栄中) ほか				
○負担金	46千円			
・全国学校栄養士協議会負担金	30千円			
・京都府学校給食研究会負担金	3千円			
・京都府学校栄養士協議会負担金	13千円			
主な財源	諸収入 中学校給食調理機器類貸付料	1,152千円		
成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供する必要がある。 ○安心・安全な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	50学校給食一般経費		
細事業名	01 学校給食一般経費				決算書	P.150
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,155千円		1,216千円		61千円	94.9 %	1,800千円
目的	学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図る。					
主要な事務・事業の概要	○衛生管理の徹底1,042千円 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。 ・消耗品費（消毒液、使い捨て手袋、ペーパータオルほか）783千円 ・給食調理員等検便検査手数料254千円 ・給食用食材検査手数料5千円 ○献立研究会運営 衛生管理面・栄養面についての研究活動を行った。99千円 ・普通旅費 京都府学校給食衛生管理推進研修会参加 16人 京都府学校給食研究協議大会参加 6人 ○負担金14千円 ・京都府栄養士会負担金					
主な財源						
成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安心・安全な学校給食を実施していく必要がある。					
所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目		11災害復旧費	01農林水産施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業																								
細 事 業 名		01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業			決算書 P.150																								
総合計画		計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																										
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																								
123,329千円		322,661千円	199,332千円	38.2 %	0千円																								
目的	災害復旧事業を実施し、豪雨により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図る。																												
主要な事務・事業の概要	豪雨により被災した農地及び農業用施設について、従前の機能を早期に復旧することにより、農業の再生産活動を進め農業経営の安定と農地の多面的機能を確保した。																												
	○職員手当等 2,190千円																												
	○賃金（臨時職員1人賃金 6か月分） 381千円																												
	○需用費（消耗品費・燃料費） 88千円																												
	○委託費（測量設計業務） 74,056千円																												
	○使用料及び賃借料（CADソフトウェア使用料） 333千円																												
	○負担金、補助及び交付金 46,281千円																												
	・小規模災害復旧事業支援補助金																												
	<table><tr><td>地 域</td><td>箇所数</td><td>補助金(千円)</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>49</td><td>9,650</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>23</td><td>4,751</td></tr><tr><td>網野町</td><td>34</td><td>5,854</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>22</td><td>4,428</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>44</td><td>6,087</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>83</td><td>15,511</td></tr><tr><td>合 計</td><td>255</td><td>46,281</td></tr></table>					地 域	箇所数	補助金(千円)	峰山町	49	9,650	大宮町	23	4,751	網野町	34	5,854	丹後町	22	4,428	弥栄町	44	6,087	久美浜町	83	15,511	合 計	255	46,281
	地 域	箇所数	補助金(千円)																										
峰山町	49	9,650																											
大宮町	23	4,751																											
網野町	34	5,854																											
丹後町	22	4,428																											
弥栄町	44	6,087																											
久美浜町	83	15,511																											
合 計	255	46,281																											
<table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>125,453千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な予算執行率</td><td>98.3%</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	125,453千円		実質的な予算執行率	98.3%																			
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	125,453千円																											
	実質的な予算執行率	98.3%																											
■令和元年度への明許繰越事業（事業完了予定 令和2年3月末） 197,208千円																													
・工事請負費（農地26件、農業用施設50件） 160,000千円																													
・小規模災害復旧事業支援補助金（176か所） 36,735千円																													
・需用費（消耗品費・燃料費） 473千円																													
主な財源	府補	農地・農業用施設災害復旧費補助金			14,395千円																								
	市債	農地・農業用施設災害復旧事業債			33,500千円																								
成果・課題	豪雨により被災した農地や農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。																												
所 管 課		農林水産部／農林整備課																											

予 算 科 目		11災害復旧費	01農林水産部施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業
細 事 業 名		01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業（繰越）			決算書 P.150
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
214,053千円		312,841千円	98,788千円	68.4 %	312,841千円
目的 災害復旧事業を実施し、豪雨により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図る。					
主要な事務・事業の概要 豪雨により被災した農地及び農業用施設について、従前の機能を早期に復旧することにより、農業の再生産活動を進め農業経営の安定と農地の多面的機能を確保した。 ○旅費 54千円 ○需用費（消耗品費・燃料費） 342千円 ○工事請負費 158,840千円 ・補助災害 事業区分 箇所 金額（千円） 農 地 34 67,123 農業用施設 29 81,355 合 計 63 148,478 ・市単独災害 事業区分 箇所 金額（千円） 農 地 9 2,814 農業用施設 27 7,548 合 計 36 10,362 ○負担金、補助及び交付金 54,817千円 ・小規模災害復旧事業支援補助金 54,761千円 地域 箇所数 補助金(千円) 峰山町 16 3,456 大宮町 98 19,248 網野町 17 2,458 丹後町 81 15,557 弥栄町 14 2,704 久美浜町 54 11,338 合 計 280 54,761 ・有害鳥獣防除施設復旧緊急支援 1か所 56千円					
主な財源		分担金 農地・農業用施設災害復旧費分担金 2,991千円 府補 農地・農業用施設災害復旧費補助金 83,840千円 市債 農地・農業用施設災害復旧事業債 9,400千円			
成果・課題 豪雨により被災した農地や農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。					
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		11災害復旧費	01農林水産施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	02過年発生農地・農業用施設災害復旧事業
細 事 業 名		01 過年発生農地・農業用施設災害復旧事業			決算書 P.150
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
32,478千円		168,971千円	136,493千円	19.2 %	143,971千円
目的	災害復旧事業を実施し、豪雨により被災した農地及び農業用施設の機能回復を図る。				
主要な 事務・事業の概要	豪雨により被災した農地及び農業用施設について、従前の機能を早期に復旧することにより、農業の再生産活動を進め農業経営の安定と農地の多面的機能を確保した。				
	○職員手当等				5,236千円
	○需用費（消耗品費）				230千円
	○工事請負費				27,012千円
	・ 補助災害				
	事業区分		箇所	金額（千円）	
	農 地		14	10,436	
	農業用施設		9	16,576	
	合 計		23	27,012	
	参考		繰越明許費を除いた最終予算額		33,303千円
		実質的な予算執行率		97.5%	
■令和元年度への明許繰越事業（事業完了予定 令和2年3月末）					135,668千円
・ 工事請負費（農地25件、農業用施設23件）					125,518千円
・ 小規模災害復旧事業支援補助金（45か所）					10,000千円
・ 有害鳥獣防除施設復旧緊急支援（2か所）					150千円
主な財源	分担金	農地・農業用施設災害復旧費分担金			27千円
	府補	農地・農業用施設災害復旧費補助金			1,700千円
成果・課題	豪雨により被災した農地や農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	02林業用施設災害復旧費	01現年発生林業用施設災害復旧事業
細 事 業 名		01 現年発生林業用施設災害復旧事業			決算書 P.150
総 合 計 画		計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
30,093千円		100,788千円	70,695千円	29.8 %	0千円
目 的	災害復旧事業を実施し、豪雨により被災した林業用施設の機能回復を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	豪雨により被災した林業用施設の災害復旧事業を行い、従前の機能を早期に復旧することにより林業経営の安定を図った。				
	○職員手当等				1,448千円
	○需用費				9,299千円
	・修繕料 5路線 39か所				
	○委託料				9,288千円
	・測量設計委託料 7路線 9か所				
	○負担金、補助及び交付金				10,058千円
	・小規模災害復旧事業支援補助金				
	地 域		箇所数	補助金(千円)	
	大宮町		2	320	
弥栄町		2	600		
久美浜町		34	9,138		
合計		38	10,058		
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		30,097千円	
		実質的な予算執行率		99.9%	
■令和元年度への明許繰越事業（事業完了予定 令和2年3月末）				70,691千円	
・職員手当等				550千円	
・工事請負費				27,000千円	
・小規模災害復旧事業支援補助金（103か所）				43,141千円	
主 な 財 源	府補	林道施設災害復旧事業査定設計費補助金			1,387千円
	市債	林業用施設災害復旧事業債			5,900千円
成 果 ・ 課 題	豪雨により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全が確保できた。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		11災害復旧費		01農林水産業施設災害復旧費		02林業用施設災害復旧費		01 現年発生林業用施設災害復旧事業																						
細 事 業 名		01 現年発生林業用施設災害復旧事業（繰越）						決算書	P.150																					
総 合 計 画		計 画 項 目		2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																										
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額																						
102,774千円		131,581千円		28,807千円		78.1 %		131,581千円																						
目 的		災害復旧事業を実施し、豪雨により被災した林業用施設の機能回復を図る。																												
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		豪雨により被災した林業用施設の災害復旧事業を行い、従前の機能を早期に復旧することにより林業経営の安定を図った。 ○職員手当等 325千円 ○需用費 3,564千円 ・修繕料（維持補修費） 3路線 15か所 ○工事請負費（災害復旧） 72,051千円 ・5路線 10か所 ○負担金、補助及び交付金 26,834千円 ・小規模林道災害復旧事業支援補助金 <table><tr><td>地 域</td><td>箇所数</td><td>補助金(千円)</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>26</td><td>8,095</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>29</td><td>9,655</td></tr><tr><td>網野町</td><td>20</td><td>5,893</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>3</td><td>620</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>13</td><td>2,571</td></tr><tr><td>合計</td><td>91</td><td>26,834</td></tr></table>								地 域	箇所数	補助金(千円)	峰山町	26	8,095	大宮町	29	9,655	網野町	20	5,893	丹後町	3	620	久美浜町	13	2,571	合計	91	26,834
地 域	箇所数	補助金(千円)																												
峰山町	26	8,095																												
大宮町	29	9,655																												
網野町	20	5,893																												
丹後町	3	620																												
久美浜町	13	2,571																												
合計	91	26,834																												
主 な 財 源		分担金 府補 市債		林業用施設災害復旧費分担金 林業用施設災害復旧費補助金 林業用施設災害復旧事業債		157千円 45,076千円 2,000千円																								
成 果 ・ 課 題		豪雨により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全が確保できた。																												
所 管 課		農林水産部／農林整備課																												

予 算 科 目		11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	03水産業用施設災害復旧費	01現年発生水産業用施設災害復旧事業		
細 事 業 名		01 現年発生水産業用施設災害復旧事業				決算書	P.152
総 合 計 画		計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
462千円		488千円		26千円	94.6 %	0千円	
目的	平成30年7月豪雨及び台風24号により被災（漁港への漂着物及び漁港内への土砂の流入）した施設の現状復旧により、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。						
主要な事務・事業の概要	磯漁港において、台風により多くの漂着物があり、漁業者の支障となったことから、漂着物を回収し撤去した。 また、袖志漁港において、台風により土砂が流入し、漁業活動に支障になったことから、土砂を撤去した。 ○委託料 ・ 磯漁港海岸漂着物回収処理業務 300千円 ○工事請負費 ・ 袖志漁港区域内土砂撤去修繕工事 162千円						
主な財源	国補 災害廃棄物処理事業補助金						150千円
成果・課題	漁業活動に必要なとなる漁港施設の復旧により、漁業者が安心・安全な漁業活動を営むことができた。						
所 管 課		農林水産部／海業水産課					

予 算 科 目		11災害復旧費		02公共土木施設災害復旧費		01公共土木施設災害復旧費		01現年発生公共土木施設災害復旧事業		
細 事 業 名		01 現年発生公共土木施設災害復旧事業							決算書	P.152
総 合 計 画		計 画 項 目		13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額		
192,396千円		396,212千円		203,816千円		48.5 %		0千円		
目 的		平成30年に発生した台風・豪雨により被災した公共土木施設（道路・河川）を早期に復旧することにより、施設の機能回復を図る。								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○公共土木施設災害復旧事業費		182,943千円				(金額単位：千円)			
	区分		補助災害復旧		単独災害復旧		合計			
			箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額		
	修繕料	道路	—	—	163	35,394	163	35,394		
		河川	—	—	36	10,032	36	10,032		
		その他	—	—	16	5,315	16	5,315		
	重機借上料	道路	—	—	1	184	1	184		
		河川	—	—	—	—	—	—		
	工事設計委託料	道路	76	60,619	—	—	76	60,619		
		河川	71	61,223	—	—	71	61,223		
	工事請負費	道路	1	3,188	1	997	2	4,185		
		河川	3	4,841	1	1,150	4	5,991		
	合計	道路	77	63,807	165	36,575	242	100,382		
		河川	74	66,064	37	11,182	111	77,246		
		その他	—	—	16	5,315	16	5,315		
○海岸防潮物処理手数料[所管：管理課]		1,878千円								
○久美浜港清掃委託料（8地区）[所管：管理課]		2,051千円								
○事務費等（時間外・休日勤務手当）		5,524千円								
参考		繰越明許費を除いた最終予算額					193,758千円			
		実質的な予算執行率					99.2%			
■令和元年度への繰越事業（令和2年3月完了予定）		202,454千円								
・補助災害24か所、単独災害48か所、修繕等129か所										
主 な 財 源	国負	公共土木施設災害復旧事業費負担金（6.67/10）						4,173千円		
	府委	久美浜港湾清掃業務委託金						3,927千円		
	市債	公共土木施設災害復旧事業債						109,800千円		
成 果 ・ 課 題	○台風・豪雨により被災した公共土木施設を復旧することにより、施設の機能回復を図った。									
	○引き続き復旧事業を実施することにより、早期に道路の安全な通行の確保と河川の機能回復を図る必要がある。									
所 管 課		建設部／土木課、管理課								

予 算 科 目	11災害復旧費		02公共土木施設災害復旧費		01公共土木施設災害復旧費		01現年発生公共土木施設災害復旧事業	
細 事 業 名	01 現年発生公共土木施設災害復旧事業（繰越）						決算書	P.152
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率	(参考)当初予算額	
588,323千円		966,877千円		378,554千円		60.8 %	966,877千円	
目 的	平成29年に発生した台風・豪雨により被災した公共土木施設（道路・河川・橋梁）を早期に復旧することにより、施設の機能回復を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○公共土木施設災害復旧事業費		587,764千円				(金額単位：千円)	
	区分		補助災害復旧		単独災害復旧		合計	
			箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
	修繕料	道路	—	—	200	45,531	200	45,531
		河川	—	—	83	20,685	83	20,685
		その他	—	—	37	16,372	37	16,372
	重機借上料	道路	—	—	17	772	17	772
		河川	—	—	4	262	4	262
		その他	—	—	8	527	8	527
	工事設計委託料等	道路	3	6,222	—	—	3	6,222
		河川	—	—	—	—	—	—
		橋梁	1	497	—	—	1	497
	工事請負費	道路	58	261,363	—	—	58	261,363
		河川	48	225,577	—	—	48	225,577
		橋梁	1	9,956	—	—	1	9,956
	合計	道路	61	267,585	217	46,303	278	313,888
		河川	48	225,577	87	20,947	135	246,524
		橋梁	2	10,453	—	—	2	10,453
		その他	—	—	37	16,899	37	16,899
○公有財産購入費及び補償費		559千円						
・用地費：俵野平田線、面積（202.25㎡）		101千円						
・補償費：出合橋立木補償金		30千円						
：野田大門線架空配電線路移設補償金		428千円						
主 な 財 源	国負	公共土木施設災害復旧事業費負担金（66.7/100）					303,743千円	
	市債	公共土木施設災害復旧事業債					166,000千円	
成 果 ・ 課 題	○台風・豪雨により被災した公共土木施設を復旧することにより、施設の機能回復を図った。							
	○引き続き復旧事業を実施することにより、早期に道路の安全な通行の確保と河川の機能回復を図る必要がある。							
所 管 課		建設部／土木課、管理課						

予 算 科 目	11災害復旧費	02公共土木施設災害復旧費	01公共土木施設災害復旧費	02過年発生公共土木施設災害復旧事業				
細 事 業 名	01 過年発生公共土木施設災害復旧事業			決算書 P.152				
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額				
63,014千円		401,245千円	338,231千円	15.7 % 358,649千円				
目 的	平成29年に発生した台風・豪雨により被災した公共土木施設（道路・河川）を早期に復旧することにより、施設の機能回復を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○公共土木施設災害復旧事業費 57,661千円 (金額単位：千円)							
	区分		補助災害復旧		単独災害復旧		合計	
			箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
	工事請負費	道路	15	23,529	—	—	15	23,529
		河川	19	34,132	—	—	19	34,132
		計	34	57,661	—	—	34	57,661
	○事務費等（時間外・休日勤務手当、消耗品費等）				5,353千円			
	参考				繰越明許費を除いた最終予算額		63,020千円	
					実質的な予算執行率		99.9%	
	■令和元年度への繰越事業（令和2年3月完了予定）				338,225千円			
・補助災害63か所								
主 な 財 源	国負 市債	公共土木施設災害復旧事業費負担金（6.67/10） 公共土木施設災害復旧事業債			18,633千円 8,200千円			
成 果 ・ 課 題	○台風・豪雨により被災した公共土木施設を復旧することにより、施設の機能回復を図った。 ○引き続き復旧事業を実施することにより、早期に道路の安全な通行の確保と河川の機能回復を図る必要がある。							
所 管 課		建設部／土木課						

予 算 科 目	11災害復旧費	03文教施設災害復旧費	01公立学校施設災害復旧費	01公立学校施設災害復旧事業
細 事 業 名	01 公立学校施設災害復旧事業			決算書 P.152
総 合 計 画	計 画 項 目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
788千円	789千円	1千円	99.8 %	0千円
目 的	平成30年7月豪雨により被災した学校施設の復旧を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○工事請負費 788千円 ・久美浜中学校テニスコート法面復旧工事			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	平成30年7月豪雨により久美浜中学校テニスコート法面が崩落する災害が発生したが、復旧することができた。			
所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	11災害復旧費	03文教施設災害復旧費	03保健体育施設災害復旧費	01保健体育施設災害復旧事業		
細事業名	01 保健体育施設災害復旧事業				決算書	P.152
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
697千円		697千円		0千円	100.0 %	0千円
目的	平成30年7月豪雨及び台風24号により被災した大宮自然運動公園の復旧を図るもの。					
主要な事務・事業の概要	○工事請負費 697千円 ・大宮自然運動公園園路法面復旧工事（平成30年7月豪雨、台風7号） 535千円 ・大宮自然運動公園園路法面復旧工事（平成30年台風24号） 162千円					
主な財源	市債 保健体育施設災害復旧事業債				600千円	
成果・課題	平成30年7月豪雨及び台風被害からの復旧工事を行うことにより、スポーツ・レクリエーション環境の維持整備を行うことができた。					
所管課		教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）				

予算科目	11災害復旧費		05その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧事業	
細事業名	01 その他公共施設災害復旧事業				決算書	P.152
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
82,560千円		93,126千円	10,566千円	88.6 %	0千円	
目的	平成30年7月豪雨等により海岸に漂着したごみの回収処理及び被災した施設等の復旧を図るもの。					
主要な事務・事業の概要	○(通称)西山管理道路災害復旧工事【所管：総務課】					1,188千円
	・道路斜面崩壊に伴う仮復旧工事					702千円
	・道路復旧工事設計委託料					486千円
	○海岸漂着物処理手数料【所管：生活環境課】					54,064千円
	○峰山・網野最終処分場災害復旧工事【所管：生活環境課】					1,706千円
	・峰山・網野最終処分場埋立法の法面崩壊に伴う復旧工事					
	○海岸漂着物回収処理委託料【所管：観光振興課】					20,938千円
	委託先：地元区・地元団体等					
	・海岸漂着物回収処理委託料(7月豪雨分) 15団体					12,912千円
	・海岸漂着物回収処理委託料(台風24号分) 5団体					8,026千円
○オートキャンプ場(てんきてんき村)復旧工事【所管：観光振興課】					3,154千円	
キャンプ場浸水に伴う堆積土砂等補修						
○赤坂工業団地災害復旧工事【所管：商工振興課】					1,510千円	
工業団地南西部の法面崩壊に伴う災害復旧						
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		82,626千円	
			実質的な執行率		99.9%	
■令和元年度への繰越事業						
		・西山管理道災害復旧工事		令和元年9月完成予定	10,500千円	
		【所管：総務課】				
主な財源	国補	災害廃棄物処理事業補助金				2,877千円
	府委	海岸漂着物対策事業委託金				66,435千円
	市債	その他公共施設災害復旧事業債				3,800千円
成果・課題	○海岸漂着物の回収・処理を速やかに実施することで美しい海岸を維持することができた。					
	○被災した施設等の復旧を速やかに実施し、施設の安定稼働を図ることができた。					
所管課		総務部／総務課、市民環境部／生活環境課、商工観光部／商工振興課、観光振興課				

予 算 科 目	11災害復旧費	05その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧事業		
細 事 業 名	01 その他公共施設災害復旧事業（繰越）				決算書	P.152
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額		
11,585千円	14,880千円	3,295千円	77.8 %	14,880千円		
目 的	平成29年台風18号により被災した施設等を早期に復旧することにより、機能回復を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	磯砂山登山口が、台風による大雨により損壊したため、復旧工事を実施した。 ○磯砂山登山道災害復旧事業 11,585千円 ・測量設計委託料 1,404千円 ・磯砂山登山道災害復旧工事（峰山町罾留地内） 10,181千円 L=22.5m					
主 な 財 源	市債	その他公共施設災害復旧事業債			11,300千円	
成 果 ・ 課 題	被災した施設等を復旧することにより、機能の回復を図った。					
所 管 課	市長公室／峰山市民局					

予 算 科 目	12公債費	01公債費	01元金	01借入金償還元金		
細 事 業 名	01 借入金償還元金				決算書	P.154
総 合 計 画	計 画 項 目	29 効率的・効果的な行財政運営				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
4,414,593千円		4,414,594千円	1千円	99.9 %	4,411,582千円	
目 的	借り入れた市債の元金償還					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市債償還元金 (単位：千円)					
	区 分		償 還 額			
	公共事業等債		137,128			
	公営住宅建設事業債		27,016			
	災害復旧事業債		39,078			
	(旧) 緊急防災・減災事業債		102,990			
	全国防災事業債		16,818			
	教育・福祉施設等整備事業債		239,373			
	一般単独事業債		1,980,604			
	辺地対策事業債		19,687			
	過疎対策事業債		576,267			
	厚生福祉施設整備事業債		16,507			
	国の予算貸付・政府関係機関貸付債		38,225			
	財源対策債		18,741			
	減収補てん債		11,092			
	減税補てん債		49,113			
	臨時財政対策債		1,024,941			
	京都府貸付金		102,993			
	その他(上水道一般会計出資債ほか)		14,020			
	合 計		4,414,593			
主 な 財 源	使用料	市営住宅使用料現年度分				777千円
	使用料	市営住宅使用料滞納繰越分				1,282千円
	諸収入	地域総合整備資金貸付金元金収入				51,598千円
成 果 ・ 課 題						
所 管 課		総務部／財政課				

予算科目	12公債費	01公債費	01元金	02繰上償還元金	
細事業名	01 繰上償還元金				決算書 P.154
総合計画	計画項目	29 効率的・効果的な行財政運営			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,000千円		3,000千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	事業費の精算に伴う負担金の返還が生じるため、合併特例事業債の一部を繰上償還				
主要な事務・事業の概要	○繰上償還元金 3,000千円 ・平成28年度 合併特例債（農業競争力強化基盤整備負担金事業債） 借入先 : 京都府市町村職員共済組合 当初借入額 : 25,100千円（平成29年5月22日借入） 借入利率 : 0.01% 繰上償還額 : 3,000千円 繰上償還日 : 平成31年3月20日				
主な財源	諸収入 府営土地改良事業市町村負担金返還金				3,000千円
成果・課題					
所管課	総務部／財政課				

予 算 科 目	12公債費	01公債費	02利子	01借入金償還利子																																							
細 事 業 名	01 借入金償還利子				決算書 P.154																																						
総 合 計 画	計 画 項 目	29 効率的・効果的な行財政運営																																									
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																																							
278,913千円	278,913千円	0千円	100.0 %	298,806千円																																							
目 的	借り入れた市債の償還利子																																										
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市債償還利子 (単位：千円) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>償 還 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>公共事業等債</td><td>9,485</td></tr><tr><td>公営住宅建設事業債</td><td>3,091</td></tr><tr><td>災害復旧事業債</td><td>577</td></tr><tr><td>(旧) 緊急防災・減災事業債</td><td>1,973</td></tr><tr><td>全国防災事業債</td><td>1,172</td></tr><tr><td>教育・福祉施設等整備事業債</td><td>16,147</td></tr><tr><td>一般単独事業債</td><td>114,321</td></tr><tr><td>辺地対策事業債</td><td>224</td></tr><tr><td>過疎対策事業債</td><td>20,979</td></tr><tr><td>厚生福祉施設整備事業債</td><td>577</td></tr><tr><td>国の予算貸付・政府関係機関貸付債</td><td>6,601</td></tr><tr><td>財源対策債</td><td>1,231</td></tr><tr><td>減収補てん債</td><td>1,087</td></tr><tr><td>減税補てん債</td><td>905</td></tr><tr><td>臨時財政対策債</td><td>94,733</td></tr><tr><td>京都府貸付金</td><td>2,103</td></tr><tr><td>その他（上水道一般会計出資債ほか）</td><td>3,707</td></tr><tr><td>合 計</td><td>278,913</td></tr></tbody></table>					区 分	償 還 額	公共事業等債	9,485	公営住宅建設事業債	3,091	災害復旧事業債	577	(旧) 緊急防災・減災事業債	1,973	全国防災事業債	1,172	教育・福祉施設等整備事業債	16,147	一般単独事業債	114,321	辺地対策事業債	224	過疎対策事業債	20,979	厚生福祉施設整備事業債	577	国の予算貸付・政府関係機関貸付債	6,601	財源対策債	1,231	減収補てん債	1,087	減税補てん債	905	臨時財政対策債	94,733	京都府貸付金	2,103	その他（上水道一般会計出資債ほか）	3,707	合 計	278,913
区 分	償 還 額																																										
公共事業等債	9,485																																										
公営住宅建設事業債	3,091																																										
災害復旧事業債	577																																										
(旧) 緊急防災・減災事業債	1,973																																										
全国防災事業債	1,172																																										
教育・福祉施設等整備事業債	16,147																																										
一般単独事業債	114,321																																										
辺地対策事業債	224																																										
過疎対策事業債	20,979																																										
厚生福祉施設整備事業債	577																																										
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	6,601																																										
財源対策債	1,231																																										
減収補てん債	1,087																																										
減税補てん債	905																																										
臨時財政対策債	94,733																																										
京都府貸付金	2,103																																										
その他（上水道一般会計出資債ほか）	3,707																																										
合 計	278,913																																										
主 な 財 源																																											
成 果 ・ 課 題																																											
所 管 課	総務部／財政課																																										

